




ボーリング柱状図

調 査 名 一般県道竹原吉名線道路改良事業に伴う業務委託

事業・工事名

ボーリングNo.	5	1	3	2	3	6	8	9	0	0	6
----------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

シート No.

ボーリング名	B-6			調査位置		測点NO. 8+80. 5R4. 5				北緯		34° 19' 13. 3200″			
発注機関	広島県西部建設事務所東広島支所					調査期間		平成29年 2月 7日～平成29年 2月 9日				東経		132° 52' 23. 0100″	
調査業者名				主任技師				現代理場				ボーリング責任者			
孔口標高	DL		方		地盤勾配		使用機種	試錐機	東邦D-1			ハンマー 落下用具	半自動型		
	24. 60m							度	向	エンジン	ヤンマーNF30C			ポンプ	東邦BG-3C
総掘進長	9. 00m														

標尺	標高	深度	柱状図	岩種区分	色調	硬軟状	割れ目の状態	風化質	変質	記号	コア採取率 最大コア長 R Q D [%]	岩級区分	孔内水位／測定月日	標準貫入試験		原位置試験	室内試験	掘進状況							
														深度 m	打撃回数／貫入量 回/cm			N 値	掘進月日	掘進速度 cm/時	孔径／孔壁保護	給回圧 MPa	送水圧 MPa	送水量 l/分	排水量 l/分
1	23.70	0.90		砂質シルト	茶					0.15mまで旧耕土の腐植物混じり粘性土。0.9m付近まで砂質シルトの表土および産錐堆積物。	100	—		1.15	18/30			133			0.0	無水 0.0	0.0		
2				中粒砂岩	淡青灰	E	Ⅶ	d	e	0.9m付近で堆積軟岩の中粒砂岩に着岩するが境界不明瞭。礫層は流紋岩質凝灰岩。強風化して細礫混じり中粒砂状。1.45～2.0mにφ数mmの異質礫含む。流紋岩質凝灰岩の強風化部および破砕部と酷似する。1.8～2.0m、2.6～2.75mおよび3.6～3.8mに結状の堆積面あり。	100	DL		1.45				171							
3				中粒砂岩	淡青灰	E	Ⅶ	d	e	0.1mにφ数mmの異質礫含む。流紋岩質凝灰岩の強風化部および破砕部と酷似する。1.8～2.0m、2.6～2.75mおよび3.6～3.8mに結状の堆積面あり。	100	DL		2.15	14/30			150		0.1	40	清水 10.0	10.0		
4				中粒砂岩	淡青灰	E	Ⅶ	d	e	3.8～4.0mおよび4.55～4.65mにφ5～10mmの暗灰色の丸みを帯びた粗目礫を含む礫混じり粗粒砂岩。強風化して粗砂状。	100	DM		3.15	12/30			240	66 ／ケーシング						
5	19.80	4.80		中粒砂岩	淡青灰	E	Ⅶ	d	e	4.82mに傾斜15° 幅5mm以下の赤茶褐色流入粘土状。	100	DM		3.45				240	66 ／ケーシング						
6				流紋岩	茶褐		Ⅳ	d	δ	4.82m以下は中粒粒岩組織が明瞭な流紋岩質凝灰岩。0.65mまでコアは風化・変質して軟質。指圧で容易に崩れる。	100	DM		4.15	33/30			100		0.4	80				
7				流紋岩	茶褐		Ⅳ	d	δ	4.8～7.7mはカタクレサイトをなす破砕質な流紋岩質凝灰岩で、岩石構造乱れており、変質して脆弱。7.55～7.75mに幅数mm以下傾斜70° の白色変質脈。以後は角礫状コアで岩片の一部軟質	100	DH		4.45				120				0.1	清水 10.0	10.0	
8	16.90	7.70		流紋岩	青茶灰		Ⅲ	c	γ	7.6m以下は硬質で割れ目間隔5～15cmだが褐色汚染顕著。	100	CL		5.15	20/30			100		0.1	100				
9	15.60	9.00		流紋岩	青茶灰	B		b	β			CM		5.45	50/9			100							
10				流紋岩	青茶灰	B		b	β			CM		6.14	50/5			100							

株式会社ヒロコン